

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

鳥取県立米子東高等学校

重点項目	理数教育重点校	提出日	令和4年12月22日
------	---------	-----	------------

1 学校目標
1 主体的な学びの推進 (1) ICTを活用したアクティブ・ラーニング等による授業改善と適切な評価 (2) SSH事業に取り組むことで、科学的探究力・情報発信力・実践力を身につけ、よりよい社会の実現を目指すチャレンジャーを育成 (3) 目標に向かって努力する生徒を育成する進路指導の充実 2 豊かな人間性の育成 (1) 主体的・自律的態度の育成 (2) 部活動の推進 (3) 体験的な学びの推進 3 生徒・保護者・地域に信頼される学校 (1) PTA活動の推進 (2) 地域への発信、学校運営協議会の推進
2 重点項目に係る目標
1 ICT活用による教員の授業力の向上 2 SSH事業による科学的探究力・貢献意識・挑戦力の育成 3 「科学の甲子園」やGSC等における全国大会出場者の増加 <数値目標> 1 授業アンケート (1) 「この授業は思考力・判断力・表現力の養成を重視したものであった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上 2 学校満足度アンケート (1) 「SSHの取組に参加したことで、科学技術に関する関心、意欲、興味は増したと思いますか」の問いに、肯定的な回答が生徒・保護者とも75%以上 (2) 「SSHの取組に参加したことで、成果を発表する力(レポート作成力、プレゼンテーション)は増したと思いますか」の問いに、肯定的な回答が生徒・保護者とも80%以上 3 各種科学コンテスト・土曜活用事業等など内外コンクールやコンペへの参加者数 (1) 総参加者 100件・1200人以上 (2) 予選通過しての上位大会出場者数 25件・80人以上
3 事業計画(事業名、事業概要)
【高等学校課事業】 1 学校連携による学カステップアップ事業(学校連携チャレンジ・サポート事業) (1) 科学を創造する人財育成事業 本校や県内・近県の高校生を対象に、最先端の科学に関する講演、数学コンテスト、理科などの実験体験を通して、科学に対する興味・関心を高める。 (2) 楽しく学ぶ科学教室 中学生が高等学校で普段行う科学実験を体験することで、科学に対する楽しさ・面白さを体感するとともに、更に深く学びたいという興味・関心を高め、高等学校での学習への意欲を喚起する。

(様式1)

2 外部人材活用事業 県立高校・大学教員交流事業
生命科学コースの生徒を対象に、鳥取大学から講師を招聘し、講演や実験を実施する。

3 新しい学びの創造事業

(1) 「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業

クロームブックをはじめICTを活用することで、取り組んでいるアクティブ・ラーニングをより効果的なものにするため、専門家を招聘しその理論と実践方法を学ぶ。

(2) 生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座

学校設定科目「課題探究基礎」でのレポート作成に関する講演会を実施する。

【独自事業】

1 アクティブ・ラーニング推進事業

(1) ICT活用推進事業

ICTを活用した授業について、先進的な取組を実践している高校を訪問することにより、教員の教科指導力・ICT活用能力を向上させる。

(2) 探究的な学習の推進

・課題探究応用でのプレゼンテーション講習

プレゼンテーションに関する講師を招聘して、生徒の発表力を向上させる。

・大学教員による中間発表指導

「課題探究応用」における中間発表を県内の研究者に見ていただき、指導・助言を受けることで、研究レベルの向上を図る。

・探究的な学習におけるフィールドワーク講習

現地調査を通して、地域の現状を踏まえた課題解決を模索する手順や科学的手法を身につける。

2 論理的思考力・表現力育成事業 小論文研修会

大手予備校から講師を招き、生徒の論理的思考力を高める小論文指導に関する教員対象講演会を開催する。

3 難関大学研究事業 SSH校の中で超進学校への教員派遣

SSH校の中でも超進学校である高校を訪問し、SSHを含め理数教育の先進的な取組を学び、本校教育に還元する。

4 生命科学コース「探究的学習」事業

(1) 鳥取大学医学部生命機能研究支援センターにおいて実習・講義

(2) 岡山大学における実験・講義

ともに、高校で実施不可能な実験・実習の体験及び先端器機設備の見学を通して、科学的・知的好奇心を高める。

5 「先端技術・最新知見に学ぶ」研修事業 発表会・学会等への参加

学会や研究成果発表会等に参加し、研究成果を発表する。

6 社会で生きる力向上事業 SDGsの推進

SDGsに係る講演会を実施するとともに、本校生徒会が地域でSDGs活動する実践に係る専門家を招聘し、社会・環境の諸課題に対して見識を深め、地域と協働しながら、地域貢献に関する提案や実践を行う。